



感染の可能性が
限りなく“ゼロ”に近い
環境をつくる

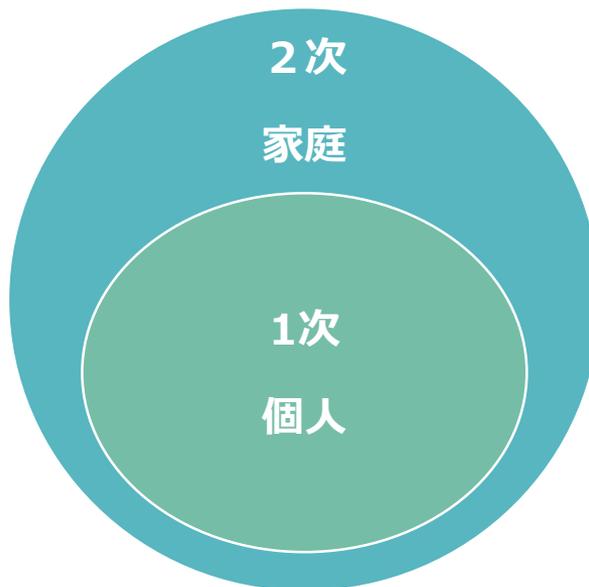
▶ **2次接触**までの把握（スクール前に申告）
をクラブの感染防止水準にする

申告
= **個人責任**の明確化

① 検温

② 家族
の発熱者の有無

③ 県外移動・イベント参加



● **個々が活動環境を維持するために、個人の責任を明確にする。**

スクールに参加する選手は

（1）検温の実施（選手、家族）

→自分、家族に37.5℃以上の発熱及び37℃以上で咳等の症状がある場合は、活動への参加停止

（2）県外への往来、不特定多数イベント（30名以上）への参加（家族含む）の有無の申告

→万が一クラブ内に感染者が出た際に感染経路を明確にするために